

関わり合いを大切にし、主体的に学ぶ児童の育成
～自己を見つめ、考えを広げ深める道徳科の授業の工夫～

下関市立生野小学校

① 本校では、自己を見つめる指導方法の工夫と、考えを広げ深める発問の工夫を視点とし、研究を進めた。重点内容項目の系統表を作成するとともに「ともに・のびる」というキーワードに結び付け、全ての教育活動で意識的に指導を行った。授業では教材研究シートを作成・活用した。子どもの体験（経験）を取り入れ、授業のねらい（道徳性の諸様相）と発問、考えを広げ深めるための補助発問の工夫について重点的に取り組んだ。

- ② 第1学年 がんばるちから
「一にち+ぶん」
- 第4学年 公平で公正な行動を
「良太のはんだん」
- 第5学年 いじめをなくすために
『スィミー作戦』『ガンジー作戦』



③ ア 学習指導要領に基づいて教材の吟味を行い、児童の実態を考慮しながらねらいを立て、学習活動の中に「体験」の想起と「関わり合い」を取り入れた授業づくりを行っていくこと。
イ 重点内容項目を核としたカリキュラム・マネジメントを各学年・特別支援学級で行い、ユニット単元表を基に教育活動全体で道徳教育を進めていくこと。

豊かな心を育む道徳の時間～心を耕すための指導の工夫～

萩市立福栄小中学校

① 本校では、「小中一貫校を生かして小中合同で取り組む活動」「地域との関わりを生かして取り組む活動」「授業づくり（3つの視点）」の3つを重点的に取り組んだ。

- ② 小学部3・4年 やっぱり、やめよう 「たからさがし」
- 小学部5・6年 誠実に生きる 「手品師」
- 中学部3年 自己の行為の責任 「ピヨ子」



③ ア 3つの視点（視点1：ねらい・重点指導の明確化 視点2：発問の工夫 視点3：授業展開の工夫）に沿って授業をつくること。

イ 児童生徒が道徳の時間で学んだことを自分の言葉でしっかり振り返ることができるように、板書の構造化、道徳の足跡（道徳の学びを学級に掲示する）、家庭との共有（学級通信等）によって振り返りを充実させること。

「考え、議論する道徳」の授業づくり

～「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト

2年次推進校の実践～

山口県教育庁義務教育課 令和6年3月

山口県教育委員会では、学習指導要領の趣旨並びに、児童生徒、学校、家庭及び地域等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育の推進と道徳科の授業についての実践研究を行い、その成果を普及することをねらい、「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクトを実施しています。

このリーフレットでは、本プロジェクトの2年次推進校（令和4・5年度指定）の実践事例を紹介しています。指導案等の資料は、義務教育課のHPに掲載していますので、今後の道徳教育の推進と道徳科の授業づくりの参考としてください。

【各学校の実践事例の見方】

研究主題 学校名

①研究概要：1年間の取組の概要紹介

②道徳セミナーにおける公開授業

③2年間の研究を通して、ア 道徳科の授業改善 イ 道徳教育の充実 のために必要と思われるポイント



義務教育課HP



主体的にかかわり合う児童生徒の育成をめざした授業づくり

～語り合いを通して考え深める道徳科の授業の工夫～

岩国市立平田小学校

① 本校では、「授業づくり研究部（道徳科の授業づくり）」、「教育環境部（学びの足跡の掲示、語り合いのためのチェックシートの作成）」、「教育課程部（アンケートの分析、道徳教育に係る校内掲示、別葉の作成）」の3つに分かれて道徳教育の充実に取り組んだ。

- ② 第1学年 わがままばかりしていると 「かぼちゃのつる」
- 第4学年 ほんとうの親切 「心と心のあくしゅ」
- 第6学年 よりよいきまり 「団地と子犬」



③ ア 本時の中でねらいとする道徳的価値がずれないように、発問を通して道徳的価値と向き合う時間、道徳的価値の自覚を深める時間を設定すること。
イ 本校の道徳教育重点目標から、育てたい児童の姿を教職員で共通理解し、道徳教育の充実に取り組むこと。

「考え、議論する道徳」の授業の創造
 ～相手の気持ちを考えた優しい言葉がけができ、正しい行いをしようと努力する子の育成～
 柳井市立柳北小学校

- ① 本校では、「重点内容項目に沿った教育活動の充実（別葉の活用、カリキュラム・マネジメント）」「授業づくり（3つの視点）」「授業力の向上（教材分析シート・校内ミニ研修会）」の3つに重点的に取り組んだ。
- ② 第1学年 勇気を出して 「ダメ」
 第5学年 誰に対しても思いやりの心を 「ノンステップバスでのできごと」



- ③ ア 3つの視点（視点1：導入と振り返りにすれが生じることのない導入や振り返りの方法の工夫、視点2：児童の反応・発言に対する目的を明確にした教師の問い返しと指導方法の精選、視点3：児童同士が互いに深め合えるような伝え合いの工夫）に沿って授業をつくること。
 イ 朝学習でのフリートークをとおして意見の発表や交流を楽しむ素地をつくること、道徳の学習を振り返って自己肯定感・有用感を高めるための教室掲示の工夫をすること。

豊かなかわりの中で、よさを発見し、よりよく生きようとする児童の育成
 ～納得解を見出し、自己の生き方に活かす授業づくり～
 下松市立下松小学校

- ① 本校では、「重点内容項目に沿ったカリキュラムの充実」「道徳科における指導方法の工夫（2つの視点）」「地域・家庭・学校が連携した道徳教育の充実」の3つを重点的に取り組んだ。
- ② 第1学年 よいこと悪いことを区別して 「それって、おかしいよ」
 第2学年 あきらめないで 「ぼくは『のび太』でした」
 第3学年 じぶんのよいところをのぼす 「じゃがいもの歌」
 第4学年 友達だから 「大きな絵はがき」
 第5学年 理解し合う心 「心のレシーブ」
 第6学年 奉仕する心 「うちら“ネコの手”ボランティア」



- ③ ア 考え、議論し、納得解を見出すことができるように、授業全体を見通し、発問構成を考えたこと。また、自己の思いや経験と学びをつなぐための手立てを工夫することで、自分の生き方について思いを深めることができるようにしたこと。
 イ 学校教育全体を通じて、充実した道徳教育を展開することができるようにPDCAサイクルでカリキュラム・マネジメントを行ったこと。また、子どもたちの豊かな心を育てるために、ユニット型研修等を通じて語り合う機会をもち、地域・家庭・学校が連携し道徳教育の充実を図ったこと。

つながりの中で、自己肯定感と仁愛の心を育む教育実践
 ～学校の教育全体で行う道徳教育の充実を通して～

山口市立平川中学校

- ① 本校では、家庭・地域の方と連携しながら生徒の道徳性を育む地域道徳と、「考え、議論する道徳」に向けて、ICTを効果的に活用した道徳科の授業づくりの研修を行った。
- ② 第1学年 生命の尊重 「ひまわり」
 第2学年 生命の尊重 「つながる命」
 第3学年 生命の尊重 「命の選択」



- ③ ア 道徳的価値について深く考えさせるために、学びの文脈を意識して子どもの発言を受けた発問や問い返しをしたり、全校で内容項目をそろえた授業を設定し、発達段階に応じた指導の工夫をしたりすること。
 イ 多面的・多角的な見方や考え方を生徒にもたせるために、学校内外のボランティア活動やあいさつ運動、長期休業中の学習会への参加など、学校と家庭・地域が一体となった取組をすること。

志（ゆめ）をもって主体的に学び、チャレンジする生徒の育成
 ～考え、議論する授業を通じた生徒の豊かな表現力の育成～

美祢市立秋芳中学校

- ① 本校では、「考え、議論する道徳教育の実施」において、生徒が問題意識をもち、自分との関わりで、人間としての生き方についての考えを深める学習となるよう、「ねらいの明確化」、「発問の吟味」について研修を重ねた。
 また、教材に描かれている道徳的価値に対して、生徒一人ひとりの感じ方や考え方を意見交換し、考えを深めることができるように、さらにそれが豊かな表現力の育成につなげていけるように、ペアやグループでの協働的な学びの充実を図った。
- ② 第1学年 働くってどんなこと？ 「新しいプライド」
 第2学年 たがいに支え合う社会 「今度は私の番だ」



- ③ ア ねらいを明確にして、生徒が問題意識をもち、多面的・多角的に、自分ごととして考えることのできる発問づくりを行い、生徒の意見に対して、切り返しの発問や対話をする中で、さらに深まりのある授業にすること。
 イ 自分と向き合い、自分との関わりで考えを深めたり課題を実感したりできるような振り返りを工夫し、学んだことが今後のその他の活動にも活かせるような働きかけをすること。

